



# 講道館で学生ボランティアの 研修会開催

報告／光本 健次

(NPO法人柔道教育ソリダリティー国際担当師範・  
全日本柔道連盟国際委員)

去る6月5日(金)～7日(日)までの3日間、全日本柔道連盟主催により、2015年度第1回学生ボランティア海外派遣事業研修会が講道館にて行われました。このボランティア学生派遣事業はNPO法人柔道教育ソリダリティーが長年にわたり柔道の国際貢献として実施していた事業で、これまで中国南京、青島、ミャンマー、ラオスなどボランティアの学生指導者を派遣してきました。

2015年度から学生ボランティア海外派遣事業は全日本柔道連盟が主催し、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会とそれに向けた具体的行動を通じて、世界のより良い未来のために、未来を担う若者をはじめ、あらゆる世代の人々に、スポーツの価値とオリンピック・ムーブメントを広げていくための日本政府のスポーツ国際貢献策、「Sport for Tomorrow」のサポートをいただきました。この貢献策はスポーツ(柔道)を通じた日本の心、文化

の紹介などに寄与することを目的としています。

### 指導陣と派遣学生たち

全日本柔道連盟は第1回目の学生ボランティア海外派遣事業ということで、今回は海外チーム受け入れ経験の豊富な大学から6名の学生を選抜しました。派遣先はブータンに2名、中国南京に2名、中国青島に2名が決定されています。海外に派遣される学生は、東海大学の佐々木浩太郎君・芦田弘毅君、天理大学の山本晃平君・阿南純平君、国際武道大学の小川峻佑君、立命館大学の間瀬文恵さんが夏季休暇を利用して、柔道学生ボランティアとして活動してもらいます。

### 楽しい柔道の教え方

派遣に伴い、講道館で行われた研修では、講義(柔道の歴史と創始)、基本動作の指導法(立技・寝技)、トレーニング法(補助・補強)、国際審判

↑左から全柔連・本郷氏、小川峻佑3段、阿南純平2段、山本晃平3段、筆者、佐々木浩太郎3段、芦田弘毅3段、間瀬文恵3段、全柔連・蒲原氏

法などを学びました。研修は短い期間でしたが、学生として柔道を通じた国際交流活動ができることを期待しています。なお、学生ボランティア海外派遣事業研修会は年2回(6月・12月)開催し、派遣は夏と春に実施します。このような派遣事業が将来、青年海外協力隊などの応募にもつながり、多くの若者が国際交流活動に興味を持ってくれることを希望しています。



↑ボールを使った練習の実技講習